（様式 3）

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

<table>
<tr><td>代 表 者 氏 名</td><td>近藤　恵</td><td>所 属</td><td>大阪医科大学</td></tr>
<tr><td>研究会等名称</td><td colspan="3">公益社団法人日本心理学会　死生心理学研究会</td></tr>
<tr><td>成 果 概 要</td><td colspan="3">１）参加人数
会員　　15 名（うち認定心理士　　0 名）
非会員　　3 名（うち認定心理士　　0 名）

２）集会等の目的・成果等
【研究集会】
１．<u>第 1 回研究会「人生の意味と死の哲学」</u>
（2019 年 9 月 6 日，ベーコンラボ京都駅）
➢ 発表者：吉沢文武（秋田大学）
➢ 参加者数：7 名

２．<u>第 2 回研究会「若手研究者の研究発表」</u>
（2020 年 2 月 15 日，中京大学）
➢ 発表者：古賀佳樹（中京大学大学院）・福田律子（名古屋大学大学院）
➢ 参加者数：9 名

【学会企画】
３．<u>日本心理学会第 83 回大会公募シンポジウム「死別悲嘆における葬儀の意味―葬儀の意味の変容と影響―」</u>（2019 年 9 月 12 日，立命館大学）
➢ 企画者：死生心理学研究会・近藤（有田）恵（大阪医科大学）
➢ 話題提供者：近藤（有田）恵（大阪医科大学）・瀬藤乃理子（福島県立医科大学）・辻本耐（長栄学園木島幼稚園）
➢ 指定討論者：川島大輔（中京大学）
➢ 司会者：渡邉照美（佛教大学）

【成果・将来計画等】
研究会発足から 3 年目の今年度は，研究会 2 回と学会企画 1 回を開催し，研究会の内外で活発な情報交換を行った。日本発達心理学会第 31 回大会自主シンポジウム（「障害のある人にとっての死・死別」）も開催予定であったが，大会が中止になり，発表を行うことができなかったため，次年度，改めて発表する予定である。その他，名古屋や大阪で複数回の研究会や読書会の開催を計画中である。</td></tr>
</table>